

## 2021年度 ヨーロッパコース

所属ゼミ	卒業論文題目—副題—
小野文生ゼミ	フランス「郊外」に住む「移民」の若者にとっての「落下」と「着地」—映画『憎しみ』の分析を通して—
小野文生ゼミ	コリアンが「ハナ [하나=一つ]」になる可能性—ワンコリアフェスティバルの「ワン [원]」と「ハナ [하나]」の概念を通して—
水谷智ゼミ	カナダ北西海岸地域における先住民アートの役割
中野幸男ゼミ	ヨーロッパ地域における英語の役割と複言語主義について —チェコの言語政策を例に—
小野文生ゼミ	コーヒー危機から考える「フェア・トレード」の向かうべき方向性—「フードシステム論」から導く価格形成システム—
伊藤玄吾ゼミ	日本の相互扶助—フランスの「連帯」との比較—
穂山洋子ゼミ	ドイツサッカー界における移民の統合問題—トルコ系移民エジル選手の問題から見る移民問題—
穂山洋子ゼミ	スコットランドにおけるナショナリズムのリベラル化傾向について
石井香江ゼミ	イギリスにおける福祉国家の変遷とシングルマザー—救済の対象としての適格性の移り変わり
伊藤玄吾ゼミ	市民としてテロリズムをいかに受け止めるか —フランスのテロ対策をめぐり—考察—
小野文生ゼミ	民主主義の限界点について—カール・シュミットに即した民主主義に関する—省察—
小野文生ゼミ	集団的な過去の不正義に対する「償い」はいかにして成し遂げられるか—アイルランド・マグダレン修道院事件を手がかりに—
尹慧瑛ゼミ /稲本健二ゼミ	アイリッシュネスから読み解くオアシス —ザ・ビートルズを手がかりに—
伊藤玄吾ゼミ	戦時下における演劇の弾圧と抵抗
小野文生ゼミ	同性婚の承認とジェンダー・カテゴライゼーションの再考—オランダの同性婚の議論と性の非決定性を巡って—
尹慧瑛ゼミ	ブレグジットをもたらした社会分断とは何か —2016年EU国民投票キャンペーンを事例に—
石井香江ゼミ	ハッシュタグ・アクティビズムとマイノリティ—ソーシャル・メディアが社会運動にもたらす可能性と期待
水谷智ゼミ	Governance and Disciplines of Masculinity in British India: The Hijra Community
尹慧瑛ゼミ	イギリスにおける多文化主義の限界とリベラル・ナショナリズムの可能性
水谷智ゼミ	自帝国の統治ビジョンとイギリス帝国観—矢内原忠雄・東郷實の植民地政策論からの考察—
穂山洋子ゼミ	2015年の「難民危機」におけるEUの統合力—EUとEU加盟国の対策を検討して—
穂山洋子ゼミ	2015年「欧州難民危機」におけるドイツの難民受け入れ決定の要因—ユーゴスラビア難民危機との比較から—
穂山洋子ゼミ	博物館展示が見学者の記憶や感情に与える影響について—アルザス・モーゼル記念館の事例から—
中野幸男ゼミ	日米のファッションドールに求められる人形の役割 —「リカちゃん」と「バービー」の比較を通して—
小野文生ゼミ	精神病院という場から権力構造と対決する—フェリックス・ガタリと共に—

2021年度 ヨーロッパコース

所属ゼミ	卒業論文題目—副題—
伊藤玄吾ゼミ	スローフードによる食の外部化へのアプローチは有効か
水谷智ゼミ	フランスにおけるムスリム移民の若者の周縁化
伊藤玄吾ゼミ	「ユーモア」心理学から見る風刺画の本質—コロナ・パンデミックを通して—
伊藤玄吾ゼミ	「第三の性」とは何か—男女二元的な枠組みを超えて—
小野文生ゼミ	「書くこと」にまどわりつく「抑制」 —ヴァージニア・ウルフの「なぐさめ」と「のろい」について—
小野文生ゼミ	ヒロシマの記憶の伝承 —原爆詩人・峠三吉の遺した詩の可能性—
水谷智ゼミ	開発援助の理想と限界—アフリカにおける開発援助の現状から考察する—
伊藤玄吾ゼミ	オランプ・ド・グージュ『シェリュバンの思いがけない結婚』Le Mariage Inattendu de Ché rubin を読み解く—革命期の男と女—
小野文生ゼミ	進路選択におけるジェンダー格差の現状と課題—日本の教育制度と施策に着目して—
小野文生ゼミ	三島由紀夫『海と夕焼』における「夕焼」の性質—『太陽と鉄』、『暁の寺』を手がかりに—
尹慧瑛ゼミ	スペインにおける間文化主義 —新しい社会統合と政策—
中野幸男ゼミ	これからの食育のあり方について —スローフード運動の「味覚教育」の観点から—
小野文生ゼミ	地域にとって芸術祭はどのような存在か—越後妻有トリエンナーレ 大地の芸術祭を事例として—
中野幸男ゼミ	ファッション文化の流行における解釈の差とその要因について —マリー・クワントのミニスカートと日本のかわいい文化から—
尹慧瑛ゼミ	在英ムスリム移民女性とお見合い結婚 —イギリス社会とコミュニティの狭間で—
伊藤玄吾ゼミ	移住するガヴァネス—ジェンティリティの規範と職業選択の関わり—
石井香江ゼミ	フィンランドにおける子どもの捉え方—早期介入と社会サービスの発展を考えながら
石井香江ゼミ	フランスの福祉制度の二面性を読みとく—家族主義と手厚い家族政策の共存
石井香江ゼミ	「世界一幸福な国」デンマークにおける幸福—デンマーク国民と移民の差に焦点を当てる
穠山洋子ゼミ	スペイン・カタルーニャにおける独立運動の背景と要因
小野文生ゼミ	現代メディア文化におけるポストフェミニズムの位相—「理想的な女性」の表象に関する社会学的分析—
小野文生ゼミ	教育における個別性をいかに守るか—上田薫の「動的相対主義」を手がかりに—
尹慧瑛ゼミ	異教徒政策とインディアス政策から見るスペインのナショナリズム
穠山洋子ゼミ	フランコ体制下の社会運動と民主化
石井香江ゼミ	ノルウェーに見る男女平等社会の形成—民主主義と福祉制度の関連性

## 2021年度 ヨーロッパコース

所属ゼミ	卒業論文題目—副題—
水谷智ゼミ	アフリカにおける身体的・経済的搾取と今後の発展—ヨーロッパ・アメリカ・中国との比較から—
尹慧瑛ゼミ	在英イラン人移民1世のアイデンティティ —子の初等教育における学校選択を通して—
石井香江ゼミ	スペイン内戦期における人民戦線内部の分裂——共和国軍のプロパガンダ・ポスターの分析を通して
水谷智ゼミ	労働条件からの偏見・差別の普遍性—在日コリアンと在英アイリッシュの事例を通じて—
伊藤玄吾ゼミ	日本のバレエが発展するには～日本と海外のバレエ制度の違い～
中野幸男ゼミ	アメリカのヒップホップの歴史と複雑性 —エミネムの台頭を通じて—
尹慧瑛ゼミ	ジェントルマンとホワイトネス
水谷智ゼミ	多文化教育をめぐる「妥当ならぬ調整」 —現代イギリス社会で相克するマジョリティとマイノリティ—
石井香江ゼミ	アストリッド・リンドグレンと子供——20世紀のスウェーデンにおける時代背景を踏まえて
伊藤玄吾ゼミ	ライトノベルにおけるディストピアと優生思想—「86—エイティシックス—」を例に—
中野幸男ゼミ	言語相対性仮説についての考察
尹慧瑛ゼミ	ドイツにおけるイスラーム宗教科の導入とその意味 —ノルトライン・ヴェストファーレン州の州を中心に—
水谷智ゼミ	フランスにおける「ライシテ(laïcité)」を盾としたムスリム移民差別
水谷智ゼミ	イギリスにおけるフェミニズムと帝国—反奴隷制運動と帝国フェミニズムの比較を通じて—
小野文生ゼミ	戦後の「混血児」の表象と「混血児」教育の変遷—エリザベス・サンダース・ホームの事例を参考に—
石井香江ゼミ	戦後フランスにおけるジェンダー観の変遷と「自由選択」の萌芽 ——女性誌等の分析を通して
尹慧瑛ゼミ	「ハーフ」のメディア進出による社会的影響
尹慧瑛ゼミ	現代イギリスにおける「階級闘争」 —2011年イングランド暴動を通して—
中野幸男ゼミ	ボスニア=ヘルツェゴビナにおける民族対立と国家体制 —ボスニア地域の歴史とボスニア紛争を踏まえて—
穂山洋子ゼミ	フランスにおける「バスク県」実現の可能性
石井香江ゼミ	オランダにおける性的マイノリティの権利獲得運動と課題——民間団体COC Nederlandの活動と宗教的問題を通して
伊藤玄吾ゼミ	ディズニーが構築するグローバル社会 —アメリカ主体の文化発信に伴う光と影—
中野幸男ゼミ	ロシア移行期以降の20年の軌跡 —動乱の時期を経て—
穂山洋子ゼミ	移民三世監督によるドイツ=トルコ映画に表象されるトルコ系移民—映画『おじいちゃんの里帰り』の分析を通して—
穂山洋子ゼミ	ナチ・ドイツ支配下の青少年—順応した青少年と抵抗した青少年の戦後の境遇と心理—

2021年度 ヨーロッパコース

所属ゼミ	卒業論文題目—副題—
穂山洋子ゼミ	ドイツの右翼ポピュリズム政党AfDのメディア活用について
伊藤玄吾ゼミ	ムーミントロールの孤独と葛藤—『ムーミン谷の冬』を通して—
伊藤玄吾ゼミ	ガウディ建築のデザインとアイデア—サグラダ・ファミリア聖堂を辿って—
中野幸男ゼミ	ナショナリズムと歌の関連性分析 —エストニアの「歌う革命」から
中野幸男ゼミ	自由を求めたコメディアン —レニー・ブルースと変化を恐れたアメリカ社会—
穂山洋子ゼミ	ソルブ語の維持と伝承の可能性
石井香江ゼミ	イギリス領香港と中国香港—香港人としてのアイデンティティ
石井香江ゼミ	ドイツにおける容器包装政策の推進—環境意識・保守党・EU及び文化的な視点から
穂山洋子ゼミ	ドイツにおける移民の母語継承に関する考察—トルコ系移民の事例から—
石井香江ゼミ	教育費の脱家族化とインクルーシブ教育の事例からみた教育格差—スウェーデンをモデルに